

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和元年度事業 点検・評価調書

5-II-10

5-II-10

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	空き家や耕作放棄地の活用
	節	II 伝統文化・地場産業の振興		
事業(施策)名	10 空き家利活用事業		事業主体	佐渡市地域振興課
			関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市建設課
事業実施期間	H28～R4			
事業概要	【事業目的】 ○景観保護地区において空き家の利活用を促進し、歴史的な景観の保護と、地域の活性化を図る。			
	【事業内容】 ○相川や笹川等の景観保護地区を中心に、歴史的まち並みを活かした空き家の利活用について、積極的な周知、広報を行うとともに、所有者とのマッチングや景観保全に必要な情報提供等相談窓口機能の強化を図る。			
R元事業計画と実績	【元年度計画】 ●「佐渡市空き家情報システム」制度の周知に努める。 ●登録物件の開拓と活用に向けた誘導に取り組む。			
	【元年度実績】 ●景観保護地区における空き家情報システム新規登録件数:0件 ●景観保護地区における成約件数:1件			
課題・今後の取組	【課題】 ■適切な管理が行われていない空き家は、景観等において悪影響を及ぼすため、危険廃屋化を未然に防ぐよう空き家の所有者に対し早期の段階で空き家の利活用について周知する必要がある。			
	【今後の取組】 ■空き家の利活用に関するパンフレットを作成し、空き家所有者に周知することで空き家の危険廃屋化を未然に防ぐ。			
事業評価	【事業の達成度】 [a ● b ● c] ◇概ね当初計画どおり事業を実施したことからBとする。			
	【事業実施の効果】 [a ● b ● c]			
	【総合評価】 [A ● B ● C]			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。